Close-up

三河島菜の学習をしました

昨年度、第三峡田小学校の3年生が1年間、江戸時代に荒川地域で盛んに栽培されていた三河島菜の学習をしました。自分たちでテーマを決め、三河島菜の特徴や歴史を学び、栽培もしました。都立農産高校と連携し、三河島菜の給食提供も行いました。子どもたちからは、「三河島菜が好きになった」「おいしかったからもっと広めたい！」などの声が聞かれました。

▲調理実習も行いました

▲栽培した三河島菜

エイズ・性感染症予防の講演会を開催

区では、性感染症予防や命の大切さを見つめ直すことを目的として、各中学校でエイズ・性感染症予防教育講演会を行っています。3月7日には第四中学校で、家庭教育アドバイザーの宗藤純子先生から、妊娠出産や心と体、性感染症などについて学びました。生徒の皆さんは真剣に講演を聞いていました。

▲講演会の様子

あらかわリサイクルセンター○×クイズの答え

A1 ○ 破砕したびんは、再資源化工場に運ばれ処理されるので、ラベルは無理にはがさなくても問題ありません。

A2 × ペットボトルがペットボトルに再生されることを、「ボトルtoボトル」と言います。その割合は年々増え、日本では現在30%です。

A3 ○ つまようじが刺さるもの、折り曲げると簡単に割れるものが食品トレイです。

困ったときは消費生活センターへ！

消費生活センターってなに？

荒川区消費生活センターでは、買い物や商品のトラブル相談について、専門の相談員が解決のお手伝いをしています。

小・中学生の消費者トラブルTOP3

NO.1 気がついたら10万円を超えていた……
スマホゲームの高額課金

NO.2 お小遣いで払えると思ったのに、高額で払えない……
ネット通販

NO.3 ポイント欲しさに申し込んだら、解約できない……
サブスクの契約
※一定期間、定額で商品やサービスを利用できる仕組み

ネット上の買い物は注意が必要

ネット上の買い物は便利な反面、払いきれないほどの額の買い物をしてしまった、安く買えたと思ったら何度も買わなければならない条件がついていたなど、トラブルにあう危険があります。ネットで買い物をする前には、必ず保護者に相談しましょう。

一人で悩まず相談しよう!!

買い物をして「変だな」「困ったな」と思ったら、一人で悩まず、すぐに保護者や先生など周りの大人や、消費生活センターに相談しましょう。

荒川区消費生活センターは、区内在住・在学の人は誰でも相談できます(相談無料・予約不要・秘密は厳守します)。

相談方法●来所・電話　**相談窓口●**荒川区役所6階7番窓口
相談専用電話●☎(5604)7055
受付時間●月～金曜日(祝日などを除く)
午前8時30分～午後4時30分

▲消費生活センター

ようこそ！
吉村昭記念文学館
～吉村昭と文学の魅力～
vol.3

[問合せ]吉村昭記念文学館 ☎(3891)4352

ふるさとを描いた小説家 吉村昭

荒川区への思い　吉村昭は、昭和2年、現在の荒川区東日暮里六丁目で生まれ、空襲で家が焼失するまでの18年間を荒川区で過ごしたんだ。

平成10年1月1日号「あらかわ区報」の中で、「私は小説を書いていますが、荒川区で生まれ育ったということが非常にプラスになっていますね。情緒があって、生き生きとした人がいっぱいいて。そういう人たちを小説や随筆に書くこともあります。今になっていい所で生まれ育ったなって思っています」と言っていたよ。

吉村昭の生まれ育った町、日暮里を大切にする気持ちは、戦前の生活の雰囲気を伝える『東京の下町』や『昭和歳時記』、戦火のすさまじさを語る『東京の戦争』によく表れているよ。

随筆『東京の下町』　『東京の下町』は、ふるさと荒川区で暮らしたころの思い出を描いた作品だよ。子どものころに熱中した遊び、家族のこと、年中行事、日々の出来事が書かれ、戦前の下町の様子がありのままに映し出されているんだ。諏方神社の夏祭り、トンボ採り、ベイゴマ、たこ揚げ、上野動物園の黒ヒョウ脱走事件、大相撲、初めて食べたカレーそばの味、そして空襲……下町の生活が生き生きと描かれているよ。

エッセイに合った挿絵も載っているよ。ぜひ、読んでみてね。

荒川区を舞台とした小説　初めての長編小説『孤独な噴水』では、吉村の生まれた場所に近い三河島や町屋が主な舞台として描かれたよ。最後の長編小説『彰義隊』では、幼いころからなじんだ三河島や尾久が話の重要な展開場面に登場したんだ。

他にも荒川区が舞台となった小説を文学館でも紹介しているから、ぜひ、探してみてね。

▲平成元年／文春文庫刊

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用